

〈宿河原町会長 三竹隆雄さんのお話し〉

宿河原のまちづくりで一番大切なことは「防災」です。私は昔から防災に力を入れた町内活動がしたかったんです。現代の科学技術では一次災害を食い止めることはできません。我々にできることは二次災害で被害が広がってしまうことを防ぐことです。

災害時に避難所となるのは主に小中学校の体育館です。たくさんの方が集まることによる圧迫感、融通が利かない空間、知らない人だらけの空間での生活は大変です。避難所運営会議訓練では実際に避難所をつくり、どのくらいの広さで生活をしなければならないのかを知ってもらうことができます。

災害時には「個人情報保護」という考えは必要無いのではないのでしょうか。名前以外の情報が伏せられてしまえば、もし同姓同名の方が複数人いらした時に全員の無事を確認することが困難です。避難場所は校区で分けられてしまいますから、無事を確認することがむずかしいのです。また病気を持たれているといった「災害弱者」と呼ばれる自身での避難が困難な方の情報が伏せられてしまえば助けることができません。

災害弱者問題に加えて、家族の大切な一員であるペットについての問題など、災害時には様々な問題が多く出てきてしまうのです。

〔防災活動について〕

防災訓練では実践的な活動を行っています。具体的には毛布、竹竿などで簡易担架を作成する、AED・消火器の使い方を指導するなど。消防団の方に協力をお願いしています。一人ひとりにやり方をわかってもらうことはもちろん重要ですが、参加することで町内の人の顔を知ること重要です。女性の積極的な参加も大切だと考えています。一人が専門的な知識を独占していても意味はないのです。

災害時に深刻化するのは水の問題ではないのでしょうか。災害という緊急時こそ、水は「個人の物」になってしまいます。個人で井戸を所有している方は他の方に水を差し上げたくないんです。自分の家族を守る方を優先してしまいますから。だから、誰でも使用できる井戸を造ったんです。衛生面での検査も行いました。保健所からも問題はないと言っていたんですが、使用する条件としては「飲料水としては使用してはいけない」と。検査上は大丈夫なんですけどね。しかし、災害時には飲料水以外でも生活用水として使用できますから非常に役立つと思います。トイレやお風呂には使えますから。この井戸の平常時の管理は厳重に行っています。強度も震度6の地震にも耐えられるようになっています。手動とエンジン機能の両方が付いていますから、エンジンが壊れてしまっても使用できます。

行政が支給してくれる水は持ち運びが大変なので、少しでも水の供給スペースを広くす

ることも考えています。「自分たちで出来ることは自分たちで行う」。行政に頼り過ぎない活動を行いたいですね。

説明よりも大切なのは経験です。考える、行動する、反省する、この流れが大切です。東日本大震災から防災（災害）グッズを持つ人が増えましたが、持っていて使用できない人が多いのではないのでしょうか。

〔まちづくりについて〕

「宿河原町会に参加したい」と思われるような町会にしたいです。「住んでみたい」と思われるまちですね。「住んでもらう」という受け身の姿勢ではだめだと思っています。

防犯カメラも町会として持っています。単なる名ばかりの飾りにならないよう、性能も重視して取り入れました。

一行事だけで人を集めることは困難です。そのために団結力を高められるリーダーとなる人が必要だと思います。「知識の上に見識があり、その上には胆識（実行する勇気）がある」これがリーダーとしての理想であると思います。

防災活動は何も起こらなければ無意味な活動になるのではないかと、という意見がありますが、「見返りは後からくるもの」という置き換えた考えでよいのではないのでしょうか。何も起こらずに過ぎてくれればそれに越したことはありません。「やってよかった」になればいいのです。

宿河原の町内活動は町会内で行われるものが多いですね。防災、防犯活動や美化活動など。防災活動以外にも桜祭りや灯籠流しなども行っています。

桜祭りは桜の並木道を人力車に乗って移動できる催し物です。そこに足を悪くされた方がいらしゃって。人力車に乗っていただいたんですが、そのときに「こんなに近くで桜が見れるなんて」ととても喜んでいただけたんです。「これからも続けよう」と思いました。

灯籠流しは家族のつながりを深めることができます。灯籠は自分の思いです。それを川に流して、その灯籠を子供が追いかけていく、その光景がとても印象に残っています。

〔課題について〕

課題は子供や若者の参加が少ないことです。学校の協力も得られているのですが、授業ではない町内活動を「強制」にはできませんから。

私自身、20代のときに消防団で地域のつながりの大切さを知ったんです。それまでは町内会といわれてもピンとこない状態でした。

宿河原町会も多摩区合同主催の行事を行っているので、そのあたりも知ってもらいたいですね。